

鍋島トラベルアワードを受賞して

鍋島トラベルアワード受賞に際して

山室 和彦

マウントサイナイ医科大学 精神科
(奈良県立医科大学 精神医学講座)

この度、平成 30 年度第 61 回神経化学会大会にて、鍋島トラベルアワードを受賞いたしましたので、謹んでご報告申し上げます。ご指導いただきましたマウントサイナイ医科大学精神科、森下先生、またこのアワードはそもそも海外留学していることが前提であるため、留学への素地を作っていたいただいた奈良県立医科大学精神医学講座、岸本教授をはじめ、ご支援いただいた全ての方に深く感謝申し上げます。

学会で発表させていただいたテーマは、社会性に関わる前頭前野におけるパルプアルブミン及びソマトスタチン陽性インターニューロンの発達というものでした。私は臨床では児童の患者さんを中心に診療を行っていることもあるため、このような発達をテーマとした研究は、私にとっては非常に興味深いものでした。本研究は DREADD や Optogenetics を用いて行動や電気生理を行うとともに、Fiber photometry を用いたカルシウムイメージングなども用いてさまざまな観点から、前頭前野の発達に着目しております。しかし、まだまだ発展途上の研究であるため、引き続き本研究を進めていきたいと思っております。

数ある応募の中から、私の研究を評価していただいたことは非常にうれしく思っております。今回の受賞を励みに、さらに研鑽を重ね、研究に尽力しようと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどどうぞ宜しくお願いいたします。